

事業名	薬物乱用対策推進費			調査番号	47
細事業名	薬物乱用防止推進事業費	財務コード	087302		
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 薬務 担当 (内線)		3453		

事業の概要

実施期間	始期 S56 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 県内中高生及び一般県民 その対象をどのような状態にして 薬物乱用の恐ろしさについて正しい知識を習得している 結果、何に結びつけるのか 薬物乱用を許さない社会環境の形成 薬物乱用の未然防止
内容	「ダム、ゼツタイ。」普及運動(6.26ヤング街頭キャンペーン) 県内の中・高生ボランティアに街頭キャンペーンへ参加してもらい、街頭キャンペーン参加者の意識啓発 一般県民への普及啓発と2重の効果を持ったキャンペーンを展開する。実施回数:1回 中高生等参加人数:464人(悪天候のため一部地域中止) 各種啓発活動 イベントの実施(県民の日、薬と健康の週間等)、薬物乱用防止教室の開催支援、各種啓発活動

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	目標	20,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
	実績(見込)	20,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	目標	700	700	650	550	550	550	550
	実績(見込)	701	691	636	553	464	600	
	達成率	100.1	98.7	97.8	100.5	84.4		
	達成区分	b	b	b	b	b		
決算(予算) 単位:千円		394	749	676	362	457	636	636

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	
成果指標	b		悪天候に見舞われ、一部地域は中止となったものの中高生等計464人に参加してもらい、一定の成果を上げた。なお、中止した地区は、地区の行事でキャンペーンを別途行った。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	危険ドラッグと呼ばれる新たな薬物が多数出現している状況で、薬物犯罪が横ばいの状況であることから、一定の成果があると考えられる。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明	薬物乱用防止推進の啓発活動は、県、市町村、教育委員会、警察等多くの機関で行うことで、一定の成果が得られるものである。		
見直しの必要性	有	薬物乱用防止教室の開催支援において、研修等で養成された薬物乱用防止指導員を講師として活用するなど、実施体制の見直しを検討する。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	学習指導要領の改訂に伴い、学校等における薬物乱用防止のための指導が充実強化されたものの、保健所職員だけでは対応に限りがあるため、薬物乱用指導員の研修等で養成された指導員を講師として活用することにより、一層の普及啓発を推進する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。